令和8年度 優良工事 土木事務所長表彰受賞者

福井土木事務所

（五十音順）

工 事 名	河川・路線名	工事場所	事業者・代表者	工事概要	全景写真	評 価 内 容
道路改良工事 07-04-01-05	一般国道 416号	福井市小幡町	（株）アルファー・ジャパン 西出 由紀子	施工延長100.0m 路床安定処理工848m2 排水工181.7m 擁壁工99.4m 下層路盤工860m2		白方～布施田バイパスにおける小幡橋右岸取付道路の盛土および下層路盤を施工する道路改良工事であり、近接工事との工程調整や施工ヤード及び耕作地関係者との調整を実施し、事業全体の推進に寄与した取り組みが優れている。 工程の遅れが生じないように、施工パーティー数を増強、徹底した工程管理により遅延の解消を図り、後続する舗装工事に影響を及ぼすことなく工事を完成させた。
道路改良工事 06-05-100-03	一般県道 東郷麻生津線	福井市下河北町	㈱岩佐土建 岩佐昭夫	施工延長 305.5m 路床安定処理工1166.0m2 排水構造物工219.0m 舗装工1式		近隣の田んぼや道路利用者等への工事による影響を多用な面から検討し実施した取り組みが優れている。 具体的には、路床安定処理時の粉塵が近隣水田へ飛散しないよう風速10m/s超で作業中止し撹拌時の散水を徹底、田植え・稲刈り時期の農耕車両通行への配慮、通勤路や踏切への影響を防ぐため施工延長を3分割施工、手戻り防止や作業の連続化への施工管理の工夫などが挙げられる。
道路防災対策工事 07-05-122-01	一般県道 清水麻生津線	福井市片山町	大貴建設（株） 吉田 正人	鉄筋挿入工 66本		片山トンネル坑口にある道路法面の既設法枠に地山の安定性を向上させる鉄筋挿入を行う工事であり、交通解放しながらの施工に対する配慮対策の取り組みが優れている。 具体的には、粉塵等が車道上に飛散するのを防ぐための仮囲い、近隣家屋の車両の出入のための見張員の設置、地域への工事の進捗状況のたよりなどが挙げられる。
砂防工事 06-07-84H-01	杉谷川	福井市宇坂大谷町	椛山建設（株） 椛山 義之	堤高 12.0m 堤長 53.5m 砂防ソイルセメント堰堤工 1式 中詰工 1,380m3 付替道路 65m		現場発生土流用によるアクセススロープの造成やテレスコピッククローラクレーンの採用により、施工性の向上と工期短縮を図った取り組みが優れている。 また、安全面では警報機付き傾斜計を3箇所設置し、警報等によるメール通知や常時モニタリング、現場に合った危機行動の疑似体験が可能なVR訓練をするなど安全性の向上を図っている。
道路改良工事 06-02-03H-02	一般国道 158号	福井市薬師町から縫原町	高崎建設（株） 髙﨑 俊二	工事用道路工 1式		国道158号バイパス道路本線の切土法面部の土砂を流用し、工事用道路を設置する工事であり、マシンガイダンス対応の油圧ショベルを活用した施工とすることで、実務経験の浅い20代女性オペレーターが重機に設置したモニターでリアルタイムに掘削箇所と掘削量を確認しながら施工した取り組みが優れている。 また、女性に配慮し、女性専用の更衣室・トイレを設置するなど女性の活躍が図れるよう工夫している。
道路改良工事 06-04-01H-04	一般国道 416号	福井市木下町	（株）前建 長谷川 和弘	施工延長 60.0 m 表層工 1,949 m2 基層工 1,550 m2 上層路盤工 2,149 m2 下層路盤工 2,169 m2		バイパス道路と現道が交差する交差点部における嵩上げ工事であり、現道交通とバイパス道路工事に伴う工事用車両の確保を図りながらの分割施工の取り組みが優れている。 分割施工による施工手順が複雑となる中、現道利用者の安全な通行の確保と、厳格な品質管理の徹底、工事間の工程調整や交通切り回し計画の徹底を図りながら施工を進め、事故や苦情を発生させることなく工事を完了し、バイパス事業の円滑な推進に大きく貢献した。

河川改修工事 06-06-11H･120-01	一級河川 底喰川	福井市文京1丁目	(株)松田組 松田　正幸	施工延長　83.0 m 大型ブロック積工　100 m2		ハンディスキャナーによる点群データを取得し現場の3次元モデル化と、これを活用したアニメーション動画を作成し、安全教育への利用や工事看板にQRコードを掲載しYouTubeで公開するなどの取り組みが優れている。 スマホで読み取れば誰でも動画視聴が可能となり、近隣へのイメージアップを図るなど地域貢献にも繋げている。
狐川排水機場改修工事 06-06-18-01	狐川排水機場	福井市角折町	吉水建機(株) 吉水かおり	主原動機更新　1式		排油溝の設置による環境保全対策を実施するとともに、カップリング保護カバーや改良型ピット蓋の設置により安全性および維持管理性を向上させるなど維持管理に配慮した取り組みが優れている。 また、近隣中学校への出前授業を通じて、地域インフラや公共事業の重要性を伝え、建設業への理解促進と将来の担い手育成に貢献した。